

センターだより

NO. 8

平成 23(2011)年 1 月 9 日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町 2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@suita.ed.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

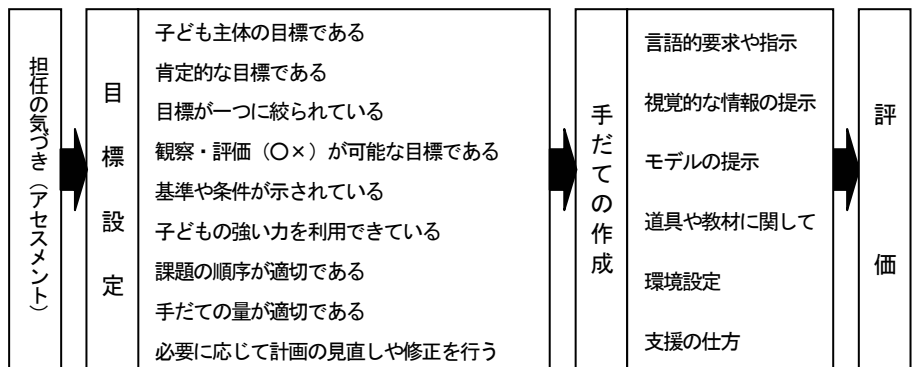
子どもの未来への贈り物をしませんか！

特別支援教育

文部科学省の調査によると、公立小・中学校の通常の学級における気になる児童・生徒の割合は 6.3% だそうです。これを単純に当てはめると各学級に 2～3 人の発達課題を持つ児童生徒がいることとなります。また、発達課題とまではいなくても、一定の配慮があれば学習や生活がスムーズに進むと感じている児童・生徒はさらにいることでしょう。校園内でこのようなニーズを持つ園児・児童・生徒への支援を推進していく上で中心となっていくのが「特別支援教育コーディネータ」ですが、教育センターではコーディネータ対象に「特別支援教育コーディネータ研修」を実施しています。今日はその中の 1 つを紹介したいと思います。

○ 8月10日実施「個別の指導計画の書き方」

生涯に渡る関係機関の支援プランである「個別の教育支援計画」をふまえ、具体的に一人一人の教育的ニーズに応じた指導目標、内容、方法などをまとめた学校園における指導計画が「個別の指導計画」です。個別の指導計画を立てるのは次のような流れで作成します。なかでも適切な目標を立てる



ことは個別の指導計画を立てる上で非常に重要な部分を占めます。研修では数週間から数ヶ月といった短いスパンで立てた短期目標に合う手立ての作成の仕方を学習しました。目標に基づいて手立てを作成・実践したら、評価をして次の目標を定めます。

個別の指導計画は“やれる教員だけがやればよい”というものではありません。今春の大学センター入試では、発達障がいを持つ受験生に時間延長や別室受験等の配慮がなされましたが、その条件の中には、それまで通ってきた学校において「個別の指導計画」を立てて継続的な支援がなされてきたかどうかが入っています。研修会の中で出た言葉ですが「その子どもの 10 年後への贈り物」と思って取組んでみてはどうでしょうか。

個別支援を必要とする子どもに対する“オーダーメイド”の支援と、ちょっとした工夫で子ども達みんなが過ごしやすくなる“ユニバーサル”な支援。この両輪が大切なのではないでしょうか。



参加者の感想より

特支 Co. ではないのですが興味・関心があったので参加しました。特性の分類から目標の立て方、手立てまでグループで学べたのでとても実りのある時間でした。ありがとうございました。

6人グループでの話し合

いはいろいろな意見が出て参考になりました。他のグループの意見もたくさん聞けたので、個別の指導計画が少し書きやすくなるかなと思いました。

手立てを具体的に説明してもらえたので良かった。もう一度個別の指導計画を立て直そうと思った。

改めて目標設定の難しさを知りました。

具体的に手順を追って考えていく方法を教えていただけだったので、わかりやすく勉強できました。ただ、自分の学校でこれを伝えて一緒にやっていくにはどうしたらいいのか、まだわかりません。学校で研修もしたいのですが、具体的にどうやっていけばいいのかまだまだ難しいです。

情報の管理は大丈夫ですか？

「情報セキュリティ」研修より

11月21日（月）に佐井寺中学校にて「情報セキュリティ」の研修を実施しました。今回はその研修から情報セキュリティ事故について紹介したいと思います。



① 情報セキュリティ事故の件数

1位は「USBメモリの紛失」ですが、2位は意外にも「紙媒体からの漏洩」で、この2つで全体の約8割を占めています。USBメモリは使用し易いのですが、小さく、紛失しやすいことが欠点です。ネックストラップやアクセサリをつけて、落とすにくくするなどの対策が必要です。また、最近環境のことを考え、裏紙を使用する場面が多くなってきていると思いますが、個人情報の記載がないか等の確認が必要です。

② 情報セキュリティ事故の漏洩情報

漏洩情報で圧倒的に多いのが名前です。以下、住所・電話番号・生年月日・メールアドレス・性別・パスワードと続いていきます。情報は一つ一つでは余り価値はありませんが、集まると個人が特定でき、価値が出てきます。特に生年月日の入っている情報は高く売れるので、注意が必要です。また、忘れるからといって、パスワードをPCの近くに置いてはいないでしょうか？情報漏洩には細心の注意が必要です。

情報セキュリティ事故を防ぐには、何より、「**整理整頓が一番大切**」とのことです。みなさん、身の回りから、見つめ直しませんか！

いっしょにステップアップ！！

ステップアップ研修代表授業者と日程が決まりました！

夏季のステップアップ研修で募集していた代表授業者と日程が下記のとおり決まりました。

【ステップアップ研修（代表授業研修）】

ステップⅠ小学校	2月16日(木)午後	算数（3年）	西山田小学校	教諭 楚和 公佑
ステップⅡ小学校	2月24日(金)午後	社会（3年）	岸部第二小学校	教諭 森 詩織
ステップⅠⅡ中学校	2月17日(金)午後	道徳（1年）	山田中学校	教諭 池上 奈穂

つきましては、**授業検討会** を予定しています。

代表授業を授業者だけで検討するのではなく、ステップアップの受講者がともにつくっていくことで、より深め合いのある授業研究会にしていくのが目的です。同期の仲間と考えながら提案したり、授業でやってみて検証・検討したりすることは、お互いにとても勉強になります。

夏季で同じ班だった人、同じ学年の受講者などは奮って参加してください。それぞれの検討会は以下の日程で順次行います。いずれも場所は **教育センター(3階)** です。

ステップⅠ小学校	算数	西山田小学校	楚和先生の授業検討会	第1回目	12月15日(木) 16:30~
ステップⅡ小学校	社会	岸部第二小学校	森先生の授業検討会	第1回目	12月14日(水) 16:30~
ステップⅠⅡ中学校	道徳	山田中学校	池上先生の授業検討会	第1回目	12月13日(火) 16:30~

- 内容
- 1回目(上記日程)…単元の構成や授業の進め方など、いろいろなアイディアを出し合います。
 - 2回目(1月中)…1回目を受けて、授業者が作成した指導案を検討します。
 - 3回目(2月中)…事前授業のビデオを観ながら、より具体的に本時の検討をします。



初任者研修代表授業を終えて



初任者研修の代表研究授業が終わりました!

11月に西山田中学校・千里第二小学校・吹田第三小学校での代表授業研がありました。

西山田中学校では、中尾謙太教諭が、白い粉の正体を実験を通して考える理科授業を提案しました。ICTを取り入れた生徒の活動を大切にした授業でした。千里第二小学校では、氏原大輔教諭が、教材「ごんぎつね」を通して、登場人物の気持ちの変化に迫る国語科の授業を提案しました。子どもの発言を大切にした姿勢が素晴らしい授業でした。吹田第三小学校では、石躍博貴教諭が、教材「サーカスのライオン」を通して、人物の気持ちを考える国語科の授業を提案しました。普段から子どもの発言をつなぐことを大切にしていることがわかる授業でした。

授業後の研究協議では、初任者がグループで付箋を活用しながら討議を行いました。「もし、自分だったら」ということを考えながら、自分の教科やクラスに照らして真剣に討議する姿が印象的でした。また、討議した結果を模造紙にまとめて報告し、協議を深めました。三教諭の授業を通して、初任者の先生方が、授業で大切なことや子ども主体の授業について考えることができました。



【感想より】

- ・4月当初から進められてきた学級づくりの取組が、安心と学びを深め合う授業へとつながっているな、と感じ、自分のクラスづくりに対して色々と反省をしました。
- ・生徒がいきいきと授業をうけている様子を見て、どのようにすれば生徒の興味をひきつけることができるのか、工夫しなければならぬと感じました。
- ・私自身が気づけなかった部分について発言された方もいたので、研究協議というのは勉強になるなあと改めて感じました。



今後の研修案内



幼稚園教育研修(講座番号106)

「幼稚園や小学校低学年における道徳教育」
～幼児期から育みたい規範意識の芽生え～

〔講師〕兵庫教育大学 准教授 淀澤 勝治先生
〔日時〕平成24年1月13日(金) 15:15～17:00
〔会場〕吹田市保健センター研修室(3階)

淀澤先生は、小学校を中心とする学校現場での教職経験を生かし、道徳教育および道徳授業の在り方を実践的に研究されています。この機会に、幼児期の子どもたちに対して、何をポイントに道徳教育の実践をするべきか、考えてみませんか?

小学校教員も参加できます!

保護者啓発研修(講座番号201)

「社会的自立・就労からみた発達障がい支援の課題
～長期的な支援に立った子育てと支援～」

〔講師〕愛媛大学教授・附属特別支援学校
校長 花熊 暁 先生

〔日時〕平成24年2月17日(金) 10時～12時
〔会場〕教育センター 視聴覚室

保護者に発達課題に対する知識や理解を深めていただくために保護者啓発研修を実施します。教職員の参加も可能ですので、参加希望の方はお申込みください。(但し、保護者優先ですので保護者の参加希望が多数の場合は参加できない場合もあります。)

(※研修申込システムで申込)



12月～2月 教 職 員 研 修 予 定



講座名	番号	研修テーマ・講師名・概要等	会 場	日 時	対 象
ライフステージにあった研修	初任者研修	23 異校種について学ぶ 「中学校における授業参観と研究協議」 授業者 山田東中学校 指導教諭 藤田 悟巳	山田東中学校	1月19日(木) 午後	小学校初任者教員 木曜①③班 小学校新規任用講師
		24 異校種について学ぶ 「中学校における授業参観と研究協議」 授業者 第二中学校 教諭 大曲 征一郎	第二中学校	1月24日(火) 午後	小学校初任者教員 火曜②班 小学校新規任用講師
		25 「授業づくりⅡ-③」異校種について学ぶ 「小学校における授業参観と研究協議」 授業者 高野台小学校 指導教諭 福島 太三	高野台小学校	1月26日(木) 午後	中学校初任者教員 中学校新規任用講師
	ステップアップ研修	39 ステップⅠ 小学校代表授業 授業者 西山田小 教諭 楚和 公佑 43 ステップⅡ 小学校代表授業 授業者 岸部第二小 教諭 森 詩織 40 ステップⅠⅡ 中学校代表授業 授業者 山田中 教諭 池上 奈穂	楚和 公佑 森 詩織 池上 奈穂	2月16日(木)午後 2月24日(金)午後 2月17日(金)午後	ステップアップ研修ⅠⅡ 受講者
		10年経験者研修	51 応急手当普及員講習 吹田消防本部救急救助課職員	教育センター 研修室	12月27日(火) 12月28日(水) 1月5日(木) 9:30～17:00
	ヤングリーダ研修	6 「学校改革アクションプランづくり」 教育センター 指導主事	教育センター 視聴覚室	1月6日(金) 13:30～	ヤングリーダ研修受講者(申し込み不要)
	学校パワーアップ研修	11 「学校改革アクションプランづくり」 教育センター 指導主事	教育センター 視聴覚室	1月6日(金) 10:00～	学校パワーアップ研修 受講者(申し込み不要)
特別支援教育	特別支援教育事例研修	227 事例研(行動領域) 事例提示 市内教員 指導助言 兵庫教育大准教授 井澤 信三 先生	教育センター 視聴覚室	1月23日(月) 15:45～	教職員
	支援学級研修	200 支援学級研修 「障がい受容について(仮)」 神戸親和女子大学 准教授 森田 安徳 先生	保健センター 研修室(3階)	2月10日(金) 15:30～	教職員(支援学級担 当者は申し込み不要)
	特別支援教育コーディネータ研修	221 特別支援教育コーディネータ研修 「引継ぎについて」 巡回コーディネータ	教育センター 視聴覚室	2月14日(月) 15:45～	教職員(特支コー ディネータは申込不要)
課題別研修	応急手当①	61 応急手当普及員講習 吹田消防本部救急救助課職員	教育センター 研修室	12月27日(火) 12月28日(水) 1月5日(木) 9:30～17:00	教職員
	応急手当②	62 応急手当普及員 再講習 吹田消防本部救急救助課職員	教育センター 和室	1月5日(木) 14:00～	平成20年度 応急手当普及員 資格取得者
専門職等研修 栄養教諭研修	50 食育研究授業 授業者 山手小学校栄養教諭 下釜 麻衣子	山手小学校	1月27日(金) 6時間目～	栄養教諭	
教科・領域研修	授業づくり研修	94 ICTを活用した公開授業② 「情報モラルの授業づくり」5年3組社会科 授業者 山田第三小学校 教諭 熊野 厚博 ※情報教育推進委員会と兼ねる。	山田第三小学校	1月30日(月) 6時間目～ 14:25～	教職員 小学校情報教育 推進委員
	小学校 英語活動研修	82 人権教育の視点に立った外国語活動・英語教育」 大阪府教育センター 人権教育研究室 室長 溝口 千鶴 ※小中学校英語担当者会と兼ねる	教育センター 視聴覚室	1月17日(火) 15:45～	小学校教職員 中学校英語科教員
		86 小学校6年 英語ノート2 研究授業・研究会 授業者 津雲台小学校 教諭 土居 春美 ※小学校英語担当者会と兼ねる	津雲台小学校	1月31日(火) 14:30～	小学校教職員 中学校英語科教員
幼稚園研修	106 「幼稚園や小学校低学年における道徳教育」 ～幼児期から育みたい規範意識の芽生え～ 兵庫教育大学 准教授 淀澤 勝治 先生	保健センター 研修室(3階)	1月13日(金) 15:15～	小学校・幼稚園 教員	
情報 研修 教育	課題・専門研修	346 学校図書システム研修 「LB@SCHOOL V2」の年次データ更新等について (株)内田洋行 インストラクター	教育センター 情報科学室	1月23日(月) 15:30～	小・中学校 図書担当者

※各講座の詳細は、各学校ごとに送付します実施要項をご覧ください。

1月のさつきらる一む(初任者教員等相談室)は、
1月10日(火) 12日(木)です。

申し込みは、教育センターまで(メールまたは研修申込にて[研修番号700])

